

## 希望のクレードル企画書





# 目次

概要・コンセプト  
世界観・イメージ  
あらすじ  
登場人物  
今後の展望

画像：ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com/20150718187post-5729.html>)

# 概要

この企画は、企画と監督のみ自分で行い、設定資料作成に伴うイラスト制作に始まり、ロゴデザイン、イラスト（キャラやコンセプトアート等）そして、楽曲制作にいたるまですべて外注にて制作することを目的としている。

# コンセプト

## タイトル

希望のクレードル

由来：作中に登場する「希望の揺り籠」から。主人公たち魔法少女が欲する願いを叶えるためのアイテムの名前

## 表現媒体

ミュージックビデオの制作を目的地としている。

カゲロウプロジェクトのようなイメージで楽曲で世界を紡ぐ作品のイメージ。

また、制作途中で作ってもらったイラストなどを使用し、設定資料集も制作予定。

## ジャンル・作風イメージ

ジャンルは魔法少女。

近年のダーク系ではなく、平成時代に多く見られた明るめの少女漫画をベースにした魔法少女もの。

ウテナやピンドラで知られる幾原監督作品のような明るい作風から始まるけど、深みに立ち入るほど暗い部分も垣間見えるような感じにしたい。

現実世界を舞台に日常を主軸とした少女たちの物語で、アクションありだけど、キャラの心情をメインにした少女漫画的構造のストーリーのイメージ。

しかしながら少女漫画的な要素はあくまでベースにする。女性に向けた作品ではないため。

魔法少女のデザインコンセプトは

【性的】×【かわいい】

性的と言いつつも男性向けエロ作品のような強調されたもの（あるいは下品）ではなく、よく見ると露出が多かったりエロさがあるけど、かわいいの方が打ち勝つようなデザインイメージ。

極端に言えばデザイン的にはエロいけどエロく見えないしかわいいと感じるぐらい。





# 世界観

画像：ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com/20180611166post-16519.html>)



# 世界観

## 舞台

最近栄え始めているという架空の町。

山々に囲まれていて、町を一望できる展望台もある。

何かに誘われるようにこの町では女性の方が人口が多い。

## 魔法少女

夜になると現れる「白き獣」と戦う少女たち。

白き獣を倒すと得られる結晶を集めるのが目的で、結晶を集めると願いを叶えられる力を得られると言われている。

彼女たちは、大昔存在した巫女の遺伝子を持っている。

画像：ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com/20180611166post-16519.html>)



# 世界観

## 希望のクレードル

願いを叶える力があるとされる揺り籠。

その名前の由来は神の子を育てるための揺り籠で、神の代行者と巫女との間に産まれた子の寝床。

その籠で育てられることで神の力を手にしたとか。

## 魔法少女

神の子と呼ばれていた者たちの遺伝子を持つ少女たち。

そのチカラの正体は神の子が持っていた力の一部。

思い描いたものを発現させる力を持っている。

## 巫女（神子）

大昔に存在した村で儀式を担当していた少女。

正式な呼び名は不明。

いつしかその名前は「神の力」を宿すものを指すようになり、「神子」と呼ばれるようになる。

その神子の内のひとりが持った恨みがのちの世代を苦しめることになる。

## 白き獣

夜になると現れる白く発光してる謎の生き物。

白き獣は暴れることも襲うこともなく徘徊している。

それを倒すことで結晶を得る。それだけの存在

実際には魔法少女が力を使い、その力を増幅させることが目的のハリボテのような存在

画像：ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com/20180611166post-16519.html>)



# 世界観

## 廃村とその風習

主人公たちの住んでいる町は、その昔廃村があったとされている。

その廃村で行われていた儀式がこの物語に大きくかかわっている。

その儀式とはその身に神を降ろした「神の代行者」と一定の年齢に達した少女「巫女」の交わり、そして「神の子」を産むものである。

その儀式には特別な力は存在していなかったが、ある時を境に「神の力」が本当に発現するようになった。

長はその力を失わぬようにと、交わりの儀式にて少女は本人の意思に反して何度も抱かれるようになった。

儀式に選ばれる少女はいつしか「神の力」をより持っているものが選ばれるようになり、それは何代も続いていくこととなる。

代行者である男を満足させ、子を孕み、産み育てる。

しかし、乗り気ではなかった少女が、友人に騙され選ばれたことでその少女は恨みを抱き、呪いとも呼べる運命を神子の遺伝子に植え付けた。

それが「本人の意思に関わらず男を惑わせてしまう運命」である。

ゆえに魔法少女は、男と交わった経験を持っている。それが同意の上かそうでないかはさておき。

## 異形の生き物

村が存在していたときに生きていたとされる生き物。

他の生物に寄生し、同化して生きていくことが本能。寄生されると個体としての意識はなくなり、寄生した生物に人知を超えた力を扱えるようにしている。

廃村に残された書物には「神」として記されたものもある。

画像：ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com/20230559131post-46468.html>)





# あらすじ

本編は存在しないのであくまでイメージ

画像：ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com/20190943245post-23036.html>)



# 物語

イメージとして3章構成。アニメで言うなら6話程度、120分の劇場版アニメ程度の規模感。作品の感じを掴むためのイメージのようなもので、この物語を直接描くものではない。

## Chapter.01「魔法少女たちの願いと過去」

Episode.01「魔法少女 A が魔法少女になる話」

Episode.02「魔法少女 B の過去と願い」

Episode.03「魔法少女 C の過去と願い」

Episode.04「分岐点。三人が協力して白き獣を倒す」

## Chapter.02「魔法少女の根源の話。過去編。」

Episode.05「魔法少女の力の根源と起源の話」

## Chapter.03「主人公の過去。そして、真実と結末」

Episode.06「魔法少女 A の過去と願い、そして彼女たちの結末」

Epilogue「世界の安らぎを求める子守歌」

## あらすじ

町に引っ越してきた主人公。町の観光スポットである展望台にて男性と出会う。彼はその夜再会し、主人公を魔法少女とする。

主人公は他にもいる魔法少女達と触れ合い、彼女たちの過去と目的、そして意志を知っていき、主人公の行動により魔法少女たちの仲が深まっていく。

それから少しして、3人が協力しなければ倒せない白き獣の登場。その戦いにより、主人公たちのチカラが1段階解放されることとなった。

そのチカラの開放が少女たちを苦しめることになる。それに構う様子はなく、語られるのは数十年前の大学生たちの話。この町が開発が進められる前、廃村となった跡地を調べるべくやってきた者たちの物語。

大学生3人は廃村を調べていて、そこに行きつき訪れた。しかし、そこで起きた事件にて1人の女性を失うことになる。残された2人の男性の片割れが女性を蘇らせるために廃村で見つけた「神の力」に目を付けた。町がこの地で開発されたのも魔法少女というシステムも彼の目論見であった。

それを聞いた主人公は仲間たちにその真実を告げられずにいた。解放されて以降、よりチカラを求めるように戦うようになって痛ましかった。そして、主人公の過去も明かされることになる。主人公の初恋であり、大人に騙された過去の話。

最後に「神の力」を完全に解放させたのは主人公で、主人公は願った。世界の安らぎを、遺伝子に刻まれた運命を、そして、悲惨な過去の改変を。

そうして、魔法少女たちは、遺伝子を持つ者たちの悲惨な過去が怒らなかった世界へと形を変えた。どこから子守歌が聞こえる。



A photograph of three Japanese schoolgirls in sailor-style uniforms (white short-sleeved shirts with dark blue collars and dark blue pleated skirts) walking away from the camera on a city street. They are carrying black backpacks. The background shows a street with a crosswalk, a metal railing in the foreground, and green trees and buildings in the distance. The image is framed by a purple border at the top and bottom.

# 登場人物

魔法少女3人・マスコット2人

大学生3人

画像：ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com/20110630170post-254.html>)



# 登場人物（魔法少女）

## 魔法少女A・主人公

身体の発育は良いが、低身長。中学2年生

明るく元気に振舞うさまは小学生のようでもある。無邪気ささえ感じられ、同級生と比べるとから見ると少し浮いて見える。

その内面は落ち着いていて、周りを冷静な目で見ている。意図的に「子どもらしく」振舞っている。

### 過去

彼女はほんの少し前、年上の男性に恋に落ちていた。しかし、その男性は主人公を抱いたのち妊娠が発覚。男性は逃亡の末見つかり逮捕される。主人公は産むことを決意し、この世に生を受けることは叶わなかった。

その時持っていた母子手帳は「呪（まじな）いの手帳」として持ち歩くようになる。

## 魔法少女B

胸の発育がよく、中学生とは思えない大きさ。彼女のコンプレックスでもあるが、隠すようにするため姿勢が悪い。中学2年生。

引っ込み思案で臆病。大人しく、強い言葉には縮こまってしまう。その反面、人に優しく接し、人の意見は尊重する。その影響もあって最初に主人公と仲良くなる。

### 過去

彼女は小学生のころから発育がよく、それが原因で特に男子から注目を浴びていた。

それにより、女子たちの嫉妬の的になり、手引きされた男子に手を出されかけることとなった。未然のところで幼馴染の男子が介入し事なきことを得たが、その色っぽさに幼馴染が手を出してしまった。

その後、親から事件は発覚。噂は親たちから子に伝わり、引っ越すことになった。

## 魔法少女C

体型は3人の中だと一番子供体型をしている。また、美少女。

勝ち気で刺々しいが、それは自分の繊細な心を守るため。自身を守るために強い言葉を投げてしまう。王子様志向を強く持ち、男子嫌いを拗らせている。

### 過去

彼女の母は物腰の柔らかい男と再婚する。少しずつ少女の警戒を解いていき、キスをせがんだ。母に煽られたこともあり、ファーストキスを経験する。

それからエスカレートしていき、ついに男は少女を自室へと連れ込んだ。しかし、その日母が早くに帰宅し、目撃する。虐待の発覚、男は逮捕された。

その後、母は疲弊していき、入院することになった。

# 登場人物（マスコット・大学生）

## マスコットA・大学生A

元大学生の男。現在ではマスコットキャラクターのような生物に身をやつしている。

寡黙で言葉が少ない。長らく相方の暴走を見、止められなかったことを悔やんでいる。

マスコットBと同じ力を手にしたこの男もまた魔法少女を生み出すが、その魔法少女は続けられなくなり、それ以来魔法少女を生み出さなくなった。

それ以降はただ事態を見守るほかはしなかった。

大学生B・Cとは仲良しで幼馴染。大学生Cとは両片思いだった。

## マスコットB・大学生B

元大学生の男B。Aと同様に別の生物の姿をしている。

彼の言葉は薄っぺらく、力も軽い。魔法少女を惑わし利用するためにそうしている。

魔法少女の9割以上は彼の手によって目覚めている。

人間の時は大学生Cに片思いをしていたが、AとBが両片思いをしていることから二人の恋を応援していた。しかし、大学生C死亡後、彼は狂いだした。

村の跡地に町の開発をはじめ、魔法少女となる女性に声をかけて、その力を覚醒させようと画策している。

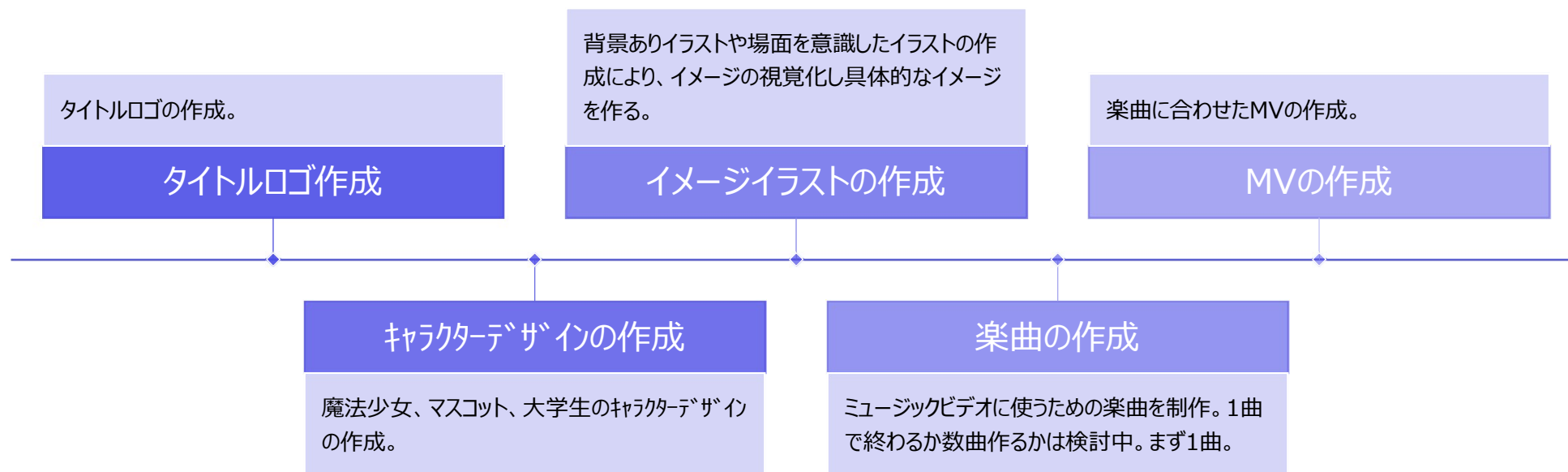
## 大学生C

大学生3人組の1人。女性。

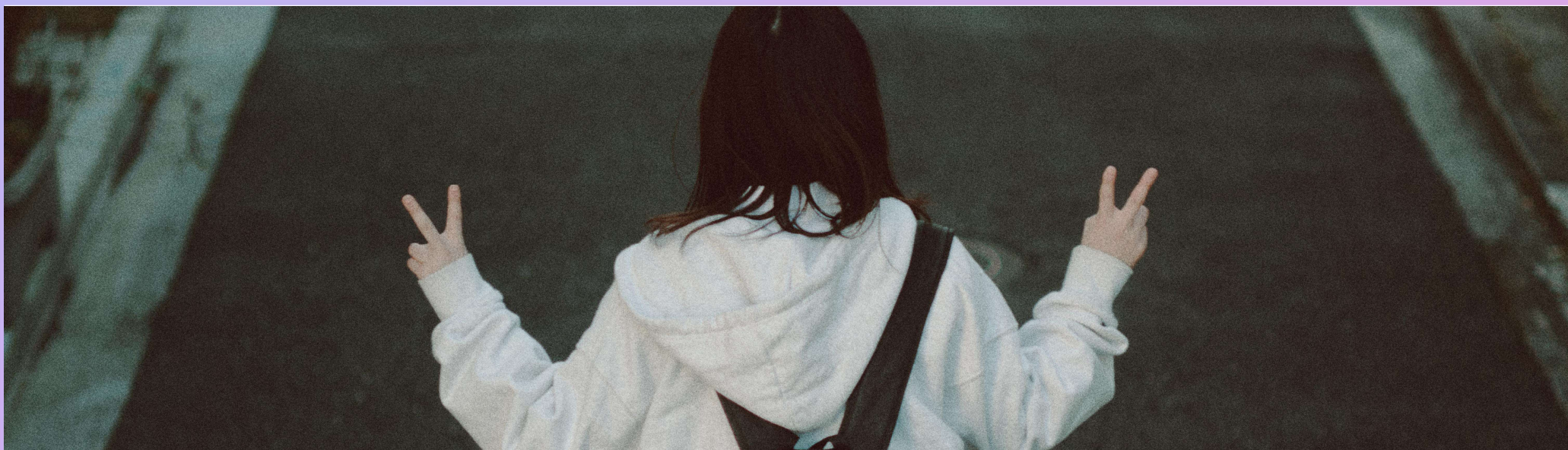
チームの引っ張り役。快活で天真爛漫。大学生Aに好意を抱いているものの表立ってその感情を出せていない。

異形の生物に魅入られたからか、その遺伝子が覚醒したからか、不幸な事件に巻き込まれ、そして亡くなった。

# 活動の展望







ありがとうございました。

使用した画像素材

ぱくたそ様

<https://www.pakutaso.com/>

画像：ぱくたそ(<https://www.pakutaso.com/20230650172post-47584.html>)